

「産業医学レビュー」掲載論文一覧

[第1巻第1号(1988年8月創刊)から第34巻第3号(2022年1月発行)まで]

<p>Vol.1 No.1 1988年8月発行</p> <p>レビュー1. 国際がん研究機関(IARC)による化学物質のヒト発癌性リスクの評価 2. 西ドイツにおける許容濃度 3. 生物学的モニタリング</p> <p>ニュース1. 産業衛生に関連ある WHO の二つの報告 2. ACGIH の TLV が産業界の影響をうけるという批判</p>	<p>東京大学医科学研究所教授 慶應義塾大学医学部教授 岡山大学医学部教授 産業医学振興財団 産業医学情報室長</p>	<p>松島泰次郎 桜井 治彦 緒方 正名 坂部 弘之 同 上</p>
<p>Vol.1 No.2 1988年11月発行</p> <p>レビュー1. プライマリ・ケアの発想とその後の展開 2. アスベストの種類と悪性中皮種 3. 人造鉱物繊維の生体への影響 4. メタロチオネイン</p> <p>ニュース1. 作業関連疾患について 2. 疫学の現状と将来</p>	<p>岡山大学医学部教授 労働省産業医学総合研究所 主任研究官 産業医科大学教授 労働省産業医学総合研究所 客員研究員 産業医学情報室長</p>	<p>青山 英康 神山 宣彦 城戸 優光 木村 正己 坂部 弘之 同 上</p>
<p>Vol.1 No.3 1989年2月発行</p> <p>レビュー1. 微量化学物質、とくに鉛曝露労働者の健康診断 ーバイオトキシコロジーから 2. 作業関連疾患(Work related diseases)特に筋、骨格系疾患について 3. 分子遺伝疫学 4. 英国におけるビシノーシス研究の現況</p> <p>ニュース ストレスに関する2つの文献</p>	<p>東京大学医学部教授 関東労災病院副院長 大阪大学医学部教授 大阪大学医学部助手 産業医学情報室長</p>	<p>和田 攻 高橋 定雄 森本 兼彙 日下 幸則 坂部 弘之</p>
<p>Vol.2 No.1 1989年5月発行</p> <p>レビュー1. 職業性アレルギー疾患とその動向ー産業医学の視点から 2. 皮膚吸収 3. 第2回日本ー米国 Joint Meeting での環境化学物質による聴器毒性のセッション</p> <p>ニュース1. 化学物質の毒性情報 2. 労働と妊娠 Work and Pregnancy</p>	<p>熊本大学名誉教授・ 労働科学研究所客員所員 労働省産業医学総合研究所 職業病研究部長 旭川医科大学教授 自治医科大学教授 産業医学情報室長</p>	<p>野村 茂 鶴田 寛 山村晃太郎 野見山一生 坂部 弘之</p>
<p>Vol.2 No.2 1989年8月発行</p> <p>レビュー1. 作業環境管理の沿革と現状 2. エイズウイルス医療機関内感染予防 3. 環境汚染物質(特にメチル水銀)に対するヒトの適応能</p> <p>ニュース 廃棄物処理の産業衛生的問題</p>	<p>労働省産業医学総合研究所長 日本赤十字社 中央血液センター副所長 東京大学医学部教授 産業医学情報室長</p>	<p>興 重治 西岡久寿彌 鈴木 継美 坂部 弘之</p>
<p>Vol.2 No.3 1989年11月発行</p> <p>レビュー1. 静的筋労作 2. 石綿曝露と喉頭癌に関する考察</p> <p>ニュース1. アスベスト曝露と胃腸がんのリスクー再評価ー 2. 発癌と奇形発生</p>	<p>労働省産業医学総合研究所 主任研究官 大阪府立成人病センター主幹 産業医学情報室長 東京慈恵会医科大学教授</p>	<p>須藤 綾子 森永 謙二 坂部 弘之 清水 英佑</p>
<p>Vol.2 No.4 1990年2月発行</p> <p>レビュー 西独の産業医制度を見て</p>	<p>産業医科大学理事</p>	<p>森 英良</p>

<p>Vol.3 No.1 1990年5月発行</p> <p>レビュー1. 精神的作業負担の評価 2. ディーゼル排ガス曝露と肺がんに関する疫学調査 3. 化学物質毒性試験－GLP 基準について－</p> <p>ニュース 労働における健康の保護と増進</p>	<p>労働省産業医学総合研究所 主任研究官 大阪府立成人病センター主幹 岐阜大学医学部教授 日本バイオアッセイ 研究センター主幹 産業医学情報室長</p>	<p>柿崎 俊雄 森永 謙二 清水 弘之 中山 栄基 坂部 弘之</p>
<p>Vol.3 No.2 1990年8月発行</p> <p>レビュー1. 作業関連疾患 2. ヒューマン・エラーの理解の一助に</p> <p>ニュース 産業災害と疫学－最近の経験のレビュー－</p>	<p>産業医学情報室長</p>	<p>坂部 弘之 同 上 同 上</p>
<p>Vol.3 No.3 1990年11月発行</p> <p>レビュー1. 産業中毒と神経障害 2. 先端産業，特に半導体産業関連化学物質の健康影響について 3. 混合物質の毒性評価</p>	<p>金沢大学医学部教授 大阪市立大学医学部教授 京都大学医学部教授</p>	<p>橋本 和夫 堀口 俊一 池田 正之</p>
<p>Vol.3 No.4 1991年2月発行</p> <p>レビュー1. 「健康管理」と健康の評価 2. 視覚作業のエルゴノミクスの評価</p> <p>ニュース 病院における酸化エチレン滅菌のための制御技術</p>	<p>名古屋大学医学部教授 労働省産業医学総合研究所 主任研究官 産業医学情報室長</p>	<p>山田 信也 斉藤 進 坂部 弘之</p>
<p>Vol.4 No.1 1991年5月発行</p> <p>レビュー1. 日本の職業がんの現状 2. 産業医学における疫学の役割 3. 有害物質規制と神経行動毒性：日米両国の毒性試験 ガイドラインにおける行動毒性試験</p>	<p>関西医科大学教授 産業医科大学教授 産業医学総合研究所</p>	<p>原 一郎 大久保利晃 宮川 宗之</p>
<p>Vol.4 No.2 1991年8月発行</p> <p>レビュー1. 公害研から環境研へ－研究組織の大幅な改組 2. リスクアセスメント</p> <p>ニュース 職業性ストレス</p>	<p>国立環境研究所長 東京大学医学部教授 産業医学情報室長</p>	<p>小泉 明 和田 攻 坂部 弘之</p>
<p>Vol.4 No.3 1991年11月発行</p> <p>レビュー フランスの産業医制度</p>	<p>北海道大学法学部教授</p>	<p>保原喜志夫</p>
<p>Vol.4 No.4 1992年2月発行</p> <p>レビュー1. 磁場の生物学的効果と生体影響 2. 労働環境中オゾンの健康影響について 3. 環境中の紫外線，光，赤外線放射による障害</p>	<p>東京慈恵会医科大学教授 産業医学総合研究所 主任研究官 同 上</p>	<p>清水 英佑 有藤平八郎 奥野 勉</p>
<p>Vol.5 No.1 1992年5月発行</p> <p>レビュー1. 労働適応 2. 交替勤務と健康問題</p> <p>ニュース フランスにおける産業医の実情と問題点</p>	<p>産業医学総合研究所長 北海道大学医学部教授 北海道大学法学部教授</p>	<p>山本 宗平 斉藤 和雄 保原喜志夫</p>
<p>Vol.5 No.2 1992年8月発行</p> <p>レビュー1. 職場のメンタルヘルス 2. 職域におけるがん検診 3. 職域における飲酒問題</p>	<p>大阪府立公衆衛生研究所 順天堂大学医学部講師 東邦大学医学部助教授</p>	<p>夏目 誠他 菊地 正悟 大本美彌子</p>
<p>Vol.5 No.3 1992年11月発行</p> <p>レビュー1. 鉛と高血圧 2. 産業医学における神経行動障害の最近の評価 3. ストレス</p>	<p>自治医科大学教授 東京大学医学部教授 産業医学情報室長</p>	<p>野見山一生 荒記 俊一他 坂部 弘之</p>

<p>Vol.5 No.4 1993年2月発行</p> <p>レビュー1. ひ素化合物による健康障害 2. 職業ガンの症例と実験成績 3. 作業関連疾患としての慢性非特異性肺疾患</p>	<p>聖マリアンナ医科大学教授 埼玉医科大学教授 東京女子医科大学助教授</p>	<p>山村 行夫 他 竹本 和夫 中館 俊夫</p>
<p>Vol.6 No.1 1993年5月発行</p> <p>レビュー1. どうして「がん」はできるのか 2. 化学物質の労働災害ポテンシャルとその評価 3. 職業癌の予防と日本バイオアッセイ研究センター</p>	<p>国立がんセンター名誉総長 慶應義塾大学医学部教授 日本バイオアッセイ研究センター所長</p>	<p>杉村 隆 桜井 治彦 松島泰次郎</p>
<p>Vol.6 No.2 1993年8月発行</p> <p>レビュー1. マイクロ波とその生体影響 2. 仕事と生物リズム 3. INDUSTRIAL HYGIENE (産業衛生、労働衛生または労働衛生工学) 発展の歴史と最近の動向</p>	<p>金沢大学医学部教授 久留米大学医学部教授 産業医学総合研究所労働環境研究部長</p>	<p>岡田 晃 他 的場 恒孝 他 松村 芳美</p>
<p>Vol.6 No.3 1993年11月発行</p> <p>レビュー1. 有機溶剤研究、最近の話題 2. 金属化合物の発がん機構 3. 筋電図による作業中局所筋負担評価</p>	<p>名古屋大学医学部教授 京都大学医学部講師 名古屋市立大学医学部教授</p>	<p>竹内 康浩 川西 正祐 井谷 徹 他</p>
<p>Vol.6 No.4 1994年2月発行</p> <p>レビュー1. 産業衛生の研究領域における最近の進歩 -日本産業衛生学会の近年の動向から- 2. 遺伝毒性評価の現状と将来 3. in vitro 試験における石綿代替品の有害性 ニュース 美容師、理容師その他の毛髪着色剤使用者のばく露危険</p>	<p>北里大学医学部教授 大阪大学医学部助教授 労働省産業医学総合研究所客員研究員・セントラル自動車(株)産業医学情報室長</p>	<p>高田 昂 竹下 達也 他 興 貴美子 坂部 弘之</p>
<p>Vol.7 No.1 1994年5月発行</p> <p>レビュー1. ライフスタイルと健康 2. 虚血性心疾患の心理社会的危険因子 -生態学的観点から- 3. 産業保健と免疫中毒学</p>	<p>東京大学医学部教授 群馬大学医学部教授 北里大学医学部教授</p>	<p>和田 攻 鈴木 庄亮 相澤 好治</p>
<p>Vol.7 No.2 1994年8月発行</p> <p>レビュー1. 騒音の生体影響研究最近の進歩 -とくに騒音性難聴をめぐって 2. エイズの疫学 Epidemiology of AIDS and HIV Infection 3. 鉛の生体影響 -最近の進歩-</p>	<p>和歌山県立医科大学教授 横浜市立大学医学部教授 佐賀医科大学教授</p>	<p>武田真太郎 他 曾田 研二 他 友国 勝磨</p>
<p>Vol.7 No.3 1994年11月発行</p> <p>レビュー1. 脳血管障害とそのリスクファクター 2. 職業集団の肝検診 3. 職域における循環器管理</p>	<p>横浜労災病院副院長 岡山大学医学部教授 聖マリアンナ医科大学教授</p>	<p>馬杉 則彦 武田 和久 他 村山 正博</p>
<p>Vol.7 No.4 1995年2月発行</p> <p>レビュー1. ILO 活動と国際協力の現状からみた職業保健 2. 職業性アレルギー疾患の発症機序とその予測 3. 作業関連物質と自己免疫疾患</p>	<p>労働科学研究所長 鹿児島大学医学部教授 川崎医科大学教授</p>	<p>小木 和孝 松下 敏夫 他 植木 絢子</p>
<p>Vol.8 No.1 1995年5月発行</p> <p>レビュー1. 高気圧作業の労働衛生 -Occupational Health Aspects of Compressed Air Work- 2. 産業医学におけるサイトカイン研究 -Cytokine Research in Occupational Medicine- 3. 放射線事業における作業者の被ばくとその防護 -Radiation Exposure and Radiological Protection for Workers-</p>	<p>埼玉医科大学教授 東京女子医科大学教授 東京大学医学部助教授</p>	<p>梨本 一郎 香川 順 他 草間 朋子</p>

<p>Vol.8 No.2 1995年8月発行</p> <p>レビュー1. 化学物質の腎毒性-腎のダイナミズム -Nephrotoxicity and renal handing of chemical substances-</p> <p>2. 産業化学物質の神経毒性 -Neurotoxicity of Industrial Chemicals-</p> <p>3. 産業保健活動の経済的評価 -The Economic Evaluation of Occupational Health Services-</p>	<p>長崎大学医学部教授</p> <p>九州大学医学部教授</p> <p>NKK 京浜製鉄所産業医</p>	<p>斎藤 寛</p> <p>井上 尚英</p> <p>堀江 正知</p>
<p>Vol.8 No.3 1995年11月発行</p> <p>レビュー1. 鉛の生物学的曝露モニタリング -Biological expousure monitoring of lead-</p> <p>2. 低分子化学物質による職業性喘息 -Occupational Asthma Induced by Low Molecular Chemicals-</p> <p>3. 産業疲労対策と職場改善 -Improvement for work-related job risks and workers'fatigue-</p>	<p>東京労災病院健康診断センター研究指導部長</p> <p>産業医科大学教授</p> <p>労働科学研究所 環境保健研究部長</p>	<p>坂井 公</p> <p>城戸 優光 他</p> <p>酒井 一博</p>
<p>Vol.8 No.4 1996年2月発行</p> <p>レビュー1. 産業保健活動の新たな展開 -The recent Development of Occupational Health Services in Japan-</p> <p>2. 産業化学物質の有害性評価 -Risk assessment of industrial chemicals-</p> <p>3. 寒冷作業の労働衛生の現状と問題点 -寒冷作業基準を中心として- Several problems in occupational hygienic measures for work in cold environments -With reference to TLV of occupational cold exposure-</p>	<p>中央労働災害防止協会 労働衛生検査センター所長 北里大学名誉教授</p> <p>東京大学医学部教授</p> <p>労働省産業医学総合研究所 主任研究官</p>	<p>高田 昂</p> <p>和田 攻</p> <p>澤田 晋一</p>
<p>Vol.9 No.1 1996年5月発行</p> <p>レビュー1. 職業性腰痛 -その診断と治療- Occupational Low Back Pain -Diagnosis & Treatment-</p> <p>2. 有害複合元素暴露の健康リスク評価法 -Ⅲ-V族化合物半導体について -Evaluation method of health risk of complex toxic element exposure:III-V semiconductor-</p> <p>3. 半導体製造特殊材料の生体影響に関する最近の知見 -Effects of specialty materials for manufacturing semiconductors on health -an update-</p>	<p>自治医科大学整形外科 客員教授</p> <p>聖マリアンナ医科大学助教授</p> <p>聖マリアンナ医科大学教授</p> <p>慶応大学医学部学助教授</p>	<p>大井 淑雄</p> <p>山内 博</p> <p>古田 勝美</p> <p>大前 和幸</p>
<p>Vol.9 No.2 1996年8月発行</p> <p>レビュー1. 産業化学物質とアポトーシス -Industrial chemicals and apoptosis-</p> <p>2. 産業保健における人間工学を正しく理解する -産業医はなぜ人間工学に興味をもたねばならないのか? - -Have a Right Understanding of Ergonomics in Occupational Health- (Why occupational Physicians/or Nurses must know and be interested in Engonomics.)</p> <p>3. 産業保健におけるバイオマーカー -特に感受性のバイオマーカーの研究の動向について- -Biomarkers in the assessment of occupational exposure to chemicals:Recent research on the biomarkers of susceptibility-</p> <p>ニュース ILO/WHO の“職業衛生”の新しい定義</p>	<p>東京慈恵会医科大学環境保健医学教室助教授</p> <p>東京慈恵会医科大学環境保健医学教室教授</p> <p>産業医科大学産業生態科学研究所教授</p> <p>信州大学医学部衛生学教室 講師</p> <p>産業医学情報室長</p>	<p>小川 康恭</p> <p>清水 英佑</p> <p>神代 雅晴</p> <p>中島 民江</p> <p>坂部 弘之</p>
<p>Vol.9 No.3 1996年11月発行</p> <p>レビュー1. 化学兵器の防御対策 -Medical Manual of Defense against Chemical Agents-</p> <p>2. 有害物曝露による毒性健康影響評価に関わる情報ネットワークと情報科学 -Computers and their global networks in chemical harzard and risk assessments-</p> <p>3. 化学物質の神経毒性-その神経化学的評価 -Neurochemical Approaches to the Evaluation of Neurotoxicity of Industrial Chemicals-</p>	<p>九州大学医学部衛生学教授</p> <p>秋田大学医学部衛生学教室 教授</p> <p>秋田大学医学部衛生学教室 大学院学生</p> <p>産業医学総合研究所職業病 研究部主任研究官</p>	<p>井上 尚英</p> <p>小泉 昭夫</p> <p>茂木 隆</p> <p>本間 健資</p>

<p>Vol.9 No.4 1997年2月発行</p> <p>レビュー1. 産業医の専門性—専門性と総合化— —Specialty of Occupational Health Physicians—</p> <p>2. 鉛による非顕性の健康影響 —神経生理および心理行動影響を中心に— —Subclinical neurophysiological and psychobehavioral effects of lead—</p> <p>3. 産業医学における職業性ストレスの研究 —Job Stress Research in Occupational Health—</p>	<p>岡山大学医学部教授</p> <p>東京大学医学部公衆衛生学教室教授 東京大学医学部公衆衛生学教室助手</p> <p>北海道大学医学部衛生学教室助教</p>	<p>青山 英康</p> <p>荒記 俊一 村田 勝敬 神山 昭男</p>
<p>Vol.10 No.1 1997年5月発行</p> <p>レビュー1. 高齢労働者の労働適応能力について —生理学的観点から— Adaptability to work in elder workers —form a standpoint of work physiology—</p> <p>2. 嘱託産業医活動の活性化 —Activities of Medical Doctors in Middle Enterprises in Japan—</p> <p>3. 有機ヒ素化合物の環境循環と生物活性 —Environmental circulation and biological effects of organoarsenics—</p>	<p>前産業医学総合研究所長</p> <p>筑波大学社会医学系環境保健学教授</p> <p>大阪市立大学医学部環境衛生学教授</p>	<p>山本 宗平</p> <p>村上 正孝 他</p> <p>圓藤 吟史 他</p>
<p>Vol.10 No.2 1997年8月発行</p> <p>レビュー1. 遺伝と遺伝子学の労働衛生への対応 Application of genetics and genotype studies to occupational medicine —Scientific and ethical issues—</p> <p>2. 産業保健における磁界測定 Magnetometry in Occupational Health</p>	<p>東京大学名誉教授 埼玉医科大学衛生学教室教授 産業医学情報室長</p> <p>北里大学医学部衛生学公衆衛生学教授</p>	<p>和田 攻</p> <p>相澤 好治 他</p>
<p>Vol.10 No.3 1997年11月発行</p> <p>レビュー1. 産業化学物質の生殖毒性 Reproductive toxicity of industrial chemicals</p> <p>2. 化学発癌物質と遺伝子 Chemical carcinogens and genes</p> <p>3. 産業保健領域における情報活用システムの展開 Progress of Informatics for Occupational Health and Safety</p>	<p>名古屋大学医学部衛生学教室教授</p> <p>東京医科歯科大学衛生学教室教授</p> <p>産業医科大学産業生態科学研究所 作業病態学研究室教授</p>	<p>竹内 康浩</p> <p>湯浅 保仁</p> <p>東 俊昭 他</p>
<p>Vol.10 No.4 1998年2月発行</p> <p>レビュー1. ニッケルの生体影響 Health Effects of Nickel Compounds</p> <p>2. 我が国における産業保健制度の将来像 Occupational Health Service System in the Future</p>	<p>産業医科大学名誉教授</p> <p>産業医科大学産業生態科学研究所教授</p>	<p>児玉 泰</p> <p>大久保利晃</p>
<p>Vol.11 No.1 1998年5月発行</p> <p>レビュー1. 産業医学における倫理問題 Ethical issues in occupational medicine</p> <p>2. デルタ-アミノレブリン酸脱水酵素の多形性と鉛の毒性 Polymorphism of δ-Aminolevulinic Acid Dehydratase and Lead Toxicity</p> <p>3. 手腕系振動障害—手持ち動力工具による健康影響— Hand-Arm Vibration Syndrome —Health effects of hand held vibrating tools—</p>	<p>昭和大学医学部衛生学教授</p> <p>中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター所長</p> <p>熊本大学医学部公衆衛生学教授</p>	<p>中村 健一</p> <p>堀口 俊一</p> <p>二塚 信</p>
<p>Vol.11 No.2 1998年8月発行</p> <p>レビュー1. 防じん対策における防じんマスクの役割 —防じんマスクの選び方・使い方— The role of dust respirators in dust control —Practical ways of selecting and using dust respirators—</p> <p>2. 作業場環境の測定と評価 Measurement and Evaluation of Working Environment</p> <p>3. 産業疲労の概念と検査法 The concept of occupational fatigue and its evaluating methods</p>	<p>労働科学研究所名誉研究員</p> <p>麻布大学環境保健学部健康環境科学科生活環境学研究室教授</p> <p>名古屋市立大学医学部衛生学教室教授</p>	<p>木村 菊二</p> <p>中明 賢二</p> <p>井谷 徹 他</p>

Vol.11 No.3 1998年11月発行 レビュー ドイツの産業医制度と産業医活動について On the System and the Activities of the Occupational Physician in Germany	財団法人産業医学 振興財団常務理事	唐沢 正義
Vol.11 No.4 1999年2月発行 レビュー1. がん検診とその有効性評価 Cancer Screening Programs and their Effectiveness 2. 暑熱、寒冷作業と健康問題 Health problems and working in cold and hot environments 3. 有機溶剤の神経毒性とその評価法 A review of recent research on health effects of human occupational exposure to organic solvents and the methods for detecting the neurobehavioral effects	東北大学医学部医学部長・ 公衆衛生学教授 福島県立医科大学医学部 衛生学講座教授 北海道大学医学部 公衆衛生学講座教授	久道 茂 田中 正敏 岸 玲子 他
Vol.12 No.1 1999年5月発行 レビュー ダイオキシンと産業保健 Dioxin Problem in Occupational Health	東京大学名誉教授 埼玉医科大学 衛生学教室教授 産業医学情報室長	和田 攻
Vol.12 No.2 1999年8月発行 レビュー1. 産業保健におけるプライバシー —健康情報管理の守秘義務に関連して— Privacy in The Field of Occupational Health —In Relation to duty Keeping the Secret with Health Information Control— 2. 機能管理からみた健康管理 —生活習慣の評価と管理における気相系呼吸機能検査の役割— Health management through the function monitor utilization —The role of respiratory function tests in the evaluation and management of life styles— 3. 産業化学物質の神経毒性スクリーニング法 In vitro neurotoxicity screening systems for industrial chemicals	山野美容芸術短期 大学 副学長 近畿大学 医学部 衛生学教室 教授 労働省産業医学総合研究所 有害性評価研究部 主任研究官	福渡 靖 目黒 忠道 小川 康恭
Vol.12 No.3 1999年11月発行 レビュー1. 産業医学におけるEBM (Evidence-Based Medicine) EBM (Evidence-Based Medicine) in Occupational Health 2. 産業中毒とフリーラジカル Free radical in industrial toxicology 3. 交代制勤務の健康影響 Shift work and health	東京慈恵会医科大学 環境保健医学教室助教 金沢大学 医学部 公衆衛生学講座 教授 秋田大学 医学部 公衆衛生学講座 教授	縣 俊彦 他 荻野 景規 本橋 豊 他
Vol.12 No.4 2000年2月発行 レビュー1. 健康寿命 Health Expectancy 2. 化学物質過敏症(本態性環境不寛容状態)について —労働衛生とのかかわり— Multiple chemical sensitivity (idiopathic environmental intolerances) in aspects of occupational health. 3. 産業化学物質の生殖発生毒性試験法とその現状 A review of the methods for detecting the reproductive and developmental toxicity of chemical substances produced and / or used in the industries	慶応義塾大学医学部衛生学 公衆衛生学教室 教授 北里大学医学部衛生学 公衆衛生学 教授 埼玉医科大学衛生学教室 助教	近藤 健文 相澤 好治 他 柳沢 裕之 他
Vol.13 No.1 2000年5月発行 レビュー1. 頸肩腕障害 Occupational cervicobrachial disorder (OCD) 2. 産業神経行動学研究 —評価法を中心に— Neurobehavioral Research in Occupational and Environmental Health 3. 分子疫学と産業保健 —感受性マーカーを中心として— Molecular Epidemiology and Occupational Health —With reference to susceptibility marker—	藤田保健衛生大学医学部 公衆衛生学教室教授 愛知医科大学衛生学教室 助手 愛知医科大学衛生学教室 教授 宮崎医科大学医学部 公衆衛生学 教授 産業医科大学 医学部 衛生学 教授	小野雄一郎 坪井 宏仁 小林 章雄 加藤 貴彦 川本 俊弘

<p>Vol.13 No.2 2000年8月発行</p> <p>レビュー1. ベンゼンの毒性と産業保健 Benzene Problem in Occupational Health</p> <p>2. 手持ち振動工具等による障害に関する研究 —振動性レイノー現象と振動障害の量・反応関係— Studies on Vibration-induced White Finger (Raynaud's Phenomenon) and on Dose-Response Relationships of the Hand-arm Vibration Syndrome</p>	<p>東京大学名誉教授、埼玉医科大学衛生学教室教授、(財)産業医学振興財団産業医学情報室長</p> <p>労働福祉事業団 岐阜産業保健推進センター 所長</p>	<p>和田 攻</p> <p>岩田 弘敏</p>
<p>Vol.13 No.3 2000年11月発行</p> <p>レビュー1. 職業性腰痛のリスク評価と介入研究 —職場におけるバイオメカニクスと人間工学の活用— The risk assessment of occupational low back pain and the interventional study—Application of biomechanics and ergonomics in workplaces</p> <p>2. 根拠に基づく産業保健 —Evidence-based Occupational Health—</p> <p>3. 職場におけるメンタルヘルスと生きがい創生：到達点と今後の方向性 Occupational Mental Health and The Creation of Worthwhile Life: State-of-Arts and Future</p>	<p>関西医科大学 衛生学教室 教授</p> <p>徳島大学 医学部 衛生学教授</p> <p>岡山大学 医学部 衛生学講座 教授</p> <p>慶応義塾大学大学院 経営管理専攻 教授</p> <p>東京学芸大学 助教授</p>	<p>徳永 力雄</p> <p>久繁 哲徳</p> <p>川上 憲人</p> <p>渡辺 直登</p> <p>朝倉 隆司</p>
<p>Vol.13 No.4 2001年2月発行</p> <p>レビュー1. 産業保健における循環器疾患の一次予防対策 Primary prevention of cardiovascular diseases in occupational health</p> <p>2. in vitro 試験によるシリカの変異原性 In vitro genotoxicity of crystalline silica</p> <p>3. 高濃度ダイオキシン曝露労働者の健康影響 Health Effects of Workers Exposed to High Levels of Dioxins</p>	<p>名古屋大学 大学院医学研究科 公衆衛生学 教授</p> <p>名古屋大学大学院医学研究科 健康社会医学専攻社会生命科学講座 公衆衛生学/医学ネットワーク管理学分野</p> <p>神奈川産業保健推進センター 産業保健相談員</p> <p>中央災害防止協会 参与</p> <p>東京大学名誉教授、埼玉医科大学衛生学教室教授、(財)産業医学振興財団産業医学情報室長</p>	<p>豊嶋 英明</p> <p>八谷 寛</p> <p>近藤 高明</p> <p>玉腰 浩司</p> <p>興 貴美子</p> <p>興 重治</p> <p>和田 攻</p>
<p>Vol.14 No.1 2001年5月発行</p> <p>レビュー1. 情報労働従事者の健康問題 Health problems among information workers</p> <p>2. 有機錫化合物の内分泌毒性 Endocrine toxicity of organotin compounds</p> <p>3. 高脂血症と職場における管理 Hypercholesterolemia and its Management in the Workplaces</p>	<p>滋賀医科大学 予防医学講座 教授</p> <p>滋賀医科大学 予防医学講座 助教授</p> <p>滋賀医科大学 予防医学講座 助手</p> <p>獨協医科大学 衛生学 教授</p> <p>岩手医科大学 衛生学 公衆衛生学 教授</p> <p>岩手医科大学 衛生学 公衆衛生学 助手</p>	<p>西山 勝夫</p> <p>和史 照代</p> <p>北原</p> <p>松井 寿夫</p> <p>岡山 明</p> <p>野原 勝</p>
<p>Vol.14 No.2 2001年8月発行</p> <p>レビュー1. 職域における「健康日本21」とがん予防 Cancer prevention in workplaces with reference to Healthy Japan 21</p> <p>2. 化学物質管理に関する国際規格 —危険有害性に関する分類と表示の調和— International Standard for Chemical Safety -Globally Harmonized System for Classification and Labelling of Chemicals-</p> <p>3. 就労女性の問題点 —これまでの研究と今後の課題— Issues in Working Women -Past and Future-</p>	<p>名古屋市立大学 医学部 公衆衛生学教室 教授</p> <p>産業医学総合研究所 企画調整部 研究企画官</p> <p>産業医学総合研究所 健康障害予防研究部 主任研究官</p> <p>東京女子医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 (I) 助手</p> <p>東京女子医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 (I) 研究生</p> <p>東京女子医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 (II) 助手</p> <p>東京女子医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 (I) 教授</p>	<p>徳留 信寛</p> <p>城内 博</p> <p>宮川 宗之</p> <p>野原 理子</p> <p>北川 豊子</p> <p>繁富 綾</p> <p>香川 順</p>
<p>Vol.14 No.3 2001年11月発行</p> <p>レビュー1. エチレンオキシド：健康影響と予防管理 Ethylene oxide: health effects and its prevention</p> <p>2. 作業関連慢性非特異性肺疾患とその管理 Control of Work-related Chronic Non-specific Respiratory Disease</p> <p>3. マルチプルリスクファクター症候群—死の四重奏とその管理 The significance of multiple risk factor syndrome and its management</p>	<p>北里大学 医学部衛生学公衆衛生学 教授</p> <p>産業医科大学 産業生態研究所 作業病態学研究室 講師</p> <p>金沢医科大学 衛生学教授</p> <p>東京大学 医学部老年病科 助手</p>	<p>相澤 好治</p> <p>八幡 勝也</p> <p>山田 裕一</p> <p>神崎 恒一</p>

<p>Vol.14 No.4 2002年2月発行</p> <p>レビュー1. 労働と心臓疾患 — “過労死” のリスク要因とその対策— Occupational and Life-style Risk factors and prevention of “Karoshi”</p> <p>2. MSDS 通知対象物質の中の金属 Metal compounds appeared in the list of substances to be informed as MSDS</p> <p>3. 電磁波と健康障害 Electromagnetic field and health</p>	<p>東京大学名誉教授、埼玉医科大学教授(財)産業医学振興財団産業医学情報室長</p> <p>富山医科薬科大学 医学部公衆衛生学講座 教授 富山医科薬科大学 医学部公衆衛生学講座 講師</p> <p>東京女子医科大学衛生学公衆衛生学教室 主任教授</p>	<p>和田 攻</p> <p>加須屋 實</p> <p>加藤 輝隆</p> <p>山口 直人</p>
<p>Vol.15 No.1 2002年5月発行</p> <p>レビュー1. 健康診断の有効性と有用性 Efficacy and effectiveness of health check-up</p> <p>2. 音響の健康に及ぼす影響 Effects for health of sound</p> <p>3. 情報技術 (IT) 社会における VDT 作業の人間工学的課題 Ergonomics of VDT work in Information Society</p>	<p>帝京大学医学部 衛生学公衆衛生学 教授</p> <p>関東労災病院 副院長 洛東耳鼻咽喉科 院長</p> <p>日本大学大学院理工学研究科 医療・福祉工学専攻 教授 産業医学総合研究所 企画調整部 部長</p>	<p>矢野 榮二</p> <p>調所 廣之</p> <p>志多 享</p> <p>城内 博</p> <p>斉藤 進</p>
<p>Vol.15 No.2 2002年8月発行</p> <p>レビュー ダイオキシンのヒト健康影響 A Review on the Human Health Effect of Dioxins and Related Compounds</p>	<p>東京大学名誉教授、埼玉医科大学教授(財)産業医学振興財団産業医学情報室長</p>	<p>和田 攻</p>
<p>Vol.15 No.3 2002年11月発行</p> <p>レビュー1. 産業化学物質による曝露とその生体影響のひろがり：水銀を例として A broad spectrum of biological effects of exposure to industrial chemicals: A review on mercury</p> <p>2. ヒトゲノムと産業医学 Human genome and occupational health</p> <p>3. 色覚異常と労働 A present state of color blindness on labor conditions</p> <p>4. 難溶性粒子物質と肺がん —動物実験の現状— Poorly soluble particulate materials and lung cancer —Present states of animal experiments—</p>	<p>東北大学大学院 医科学専攻社会医学講座 環境保健医学分野 教授</p> <p>旭川医科大学 医学部 公衆衛生学講座 教授</p> <p>埼玉医科大学 総合医療センター 眼科 教授</p> <p>埼玉医科大学 生化学教室 講師 神奈川産業保健推進センター 産業保健相談員</p>	<p>佐藤 洋</p> <p>羽田 明</p> <p>河井 克仁</p> <p>河井信一郎</p> <p>興 貴美子</p>
<p>Vol.15 No.4 2003年2月発行</p> <p>レビュー シリカ曝露、じん肺そして肺癌 —研究と対策の変遷と現状およびリスクアセスメント— Silica, Pneumoconiosis and lung cancer —History, present status and a risk assessment—</p>	<p>東京大学名誉教授、埼玉医科大学教授(財)産業医学振興財団産業医学情報室長</p> <p>埼玉医科大学 講師</p>	<p>和田 攻</p> <p>栗原 伸公</p>
<p>Vol.16 No.1 2003年5月発行</p> <p>レビュー1. 「労働時間」と健康管理 —現場での過重労働負担予防の考え方と対策— Working Hours and Health Care Management: Strategies for the Prevention of “Karou-shi”</p> <p>2. 化学物質の変異原性試験の現状と将来 Mutagenicity test for chemicals: Present and Future Perspectives</p> <p>3. 疫学における倫理 Ethical Issues in Epidemiology</p>	<p>松下産業衛生科学センター 所長</p> <p>東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 助教授 東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 教授</p> <p>順天堂大学 医学部衛生学教室 教授</p>	<p>山田 誠二</p> <p>鈴木 勇司</p> <p>清水 英佑</p> <p>稲葉 裕</p>
<p>Vol.16 No.2 2003年8月発行</p> <p>レビュー1. 職場におけるラジオ波帯とマイクロ波帯の電磁波の健康影響 Effects of Occupational Exposure to Radiofrequency and Microwaves</p> <p>2. わが国における防じんマスク —研究と規格— The Development and Use of Dust Respirators in Japan —Research and Standards—</p> <p>3. 職業性呼吸器疾患、特にじん肺のCT、ヘリカルCT 検査 Occupational Respiratory Diseases —Application of CT, Helical CT—</p>	<p>高知医科大学医学科 社会医学講座環境医学 教授</p> <p>労働科学研究所 名誉研究員</p> <p>けい肺労災病院 じん肺研修部長</p>	<p>中村 裕之</p> <p>木村 菊二</p> <p>志田 寿夫</p>

<p>Vol.16 No.3 2003年11月発行</p> <p>レビュー1. ペプシノゲン法による胃癌検診とそのEBM A review of gastric cancer screening using the pepsinogen test method and its medical evidence</p> <p>2. 動脈硬化予防の新しい展開 : マルチプルリスクファクター症候群と炎症 A new strategy for the prevention of arteriosclerosis : multiple risk factor syndrome and inflammation</p> <p>3. 木材粉じんとがん Epidemiology on cancers among workers with exposure to wood dust</p>	<p>東邦大学医学部 消化器内科 教授 東邦大学医学部 消化器内科 国立がんセンター研究所 がん情報研究部がん発生 情報研究室 室長 京都府立医科大学大学院 地域保健医療疫学 教授 大阪大学大学院 医学系研究科社会環境医学 助教授 産業医科大学 産業生態科学 研究所 環境疫学研究室 講師</p>	<p>三木 一正 笹島 雅彦 濱島ちさと 渡邊 能行 中西 範幸 寶珠山 務</p>
<p>Vol.16 No.4 2004年2月発行</p> <p>レビュー1. 産業化学物質の有害性調査 —特に簡便で有効な動物代替試験法の現状と将来— Alternative toxicological test methods: current issues and future directions</p> <p>2. 振動障害の現状と研究の進歩 —診断法を中心として— Current review on the diagnosis of vibration syndrome</p>	<p>東京大学名誉教授、(財)産業医学振興財団産業医学 情報室長 和歌山県立医科大学衛生学 教室教授 和歌山県立医科大学衛生学 教室講師 和歌山大学経済学部助教授</p>	<p>和田 攻 宮下 和久 宮井 信行 富田耕太郎</p>
<p>Vol.17 No.1 2004年5月発行</p> <p>レビュー1. 運動・身体活動の健康影響 —産業疫学からヘルスプロモーションへ— Health effects of exercise and physical activity: from occupational epidemiology to health promotion</p> <p>2. 睡眠と睡眠障害 —特に睡眠時無呼吸症候群と産業保健— Sleep and sleep disorders —Sleep apnea syndrome in occupational health—</p> <p>3. インジウムとその化合物の毒性について Toxicology of indium and indium compounds</p>	<p>東京大学 大学院医学系研 究科公衆衛生学分野 教授 埼玉医科大学 医学基礎部門心理学教室 助教授 日本アイ・ビー・エム(株) 人事管理 安全衛生産業保 健 部長</p>	<p>小林 廉毅 飯田 英晴 浜口 伝博</p>
<p>Vol.17 No.2 2004年8月発行</p> <p>レビュー1. 職域医療と臨床産業医 Occupational Medicine & Physician</p> <p>2. 管理濃度とその改正 Revise of Administrative Control levels</p> <p>3. 女性特有な疾患と労働 Female specific diseases and work</p>	<p>丸紅(株)大阪健康開発セ ンター所長 (社)日本産業衛生学会 産業医部会長 麻布大学 環境保健学研究科 教授 産業医科大学 産業医実務 研修センター 学内講師 産業医科大学 産業医実務 研修センター 修練医 産業医科大学 産業医実務 研修センター 所長</p>	<p>岡田 章 中明 賢二 吉川 里江 三浦 裕美 森 晃爾</p>
<p>Vol.17 No.3 2004年11月発行</p> <p>レビュー1. わが国の循環器疾患の動向とその危険因子の推移</p> <p>2. 心身医学からみた産業保健</p> <p>3. 健康寿命の延伸を目指した健康科学の展開 —産業医学への応用—</p>	<p>滋賀医科大学 福祉保健医学講座 教授 東邦大学医学部 大学院 東邦大学医学部 心身医学講座助手 東邦大学医学部 心身医学講座教授 大阪府立健康科学 センター所長</p>	<p>上島 弘嗣 山田 宇以 端詰 勝敬 坪井 康次 嶋本 喬</p>
<p>Vol.17 No.4 2005年2月発行</p> <p>レビュー1. 職域における高血圧管理とその意義 —臨床と産業医学の融合による全ての健康管理の充実と過労死の予防のために— Occupational and Clinical Management of Hypertension for Whole Health Administration and Prevention of Karou-shi of Workers</p> <p>2. 酸無水物による健康障害と生物学的モニタリング</p>	<p>東京大学名誉教授 産業医 学振興財団 産業医学情報室長 東京労災病院産業 中毒セ ンター長 大阪市立大学医学部環境衛 生学教室教授</p>	<p>和田 攻 圓藤 陽子 圓藤 吟史</p>

<p>Vol.18 No.1 2005年5月発行</p> <p>レビュー1. 健康づくりと生産性、休業および労働適応能力について</p> <p>2. 石綿ばく露と健康障害 –石綿関連疾患の診断と治療–その最近の知見と対策 Asbestos Exposure and Health Impairment—Diagnosis and treatment of Asbestos-related disease—Recent Information and Countermeasures</p> <p>3. 自動体外式除細動器 (AED) と産業医学</p>	<p>産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学研究室 教授 産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学研究室 助手 岡山労災病院 副院長</p> <p>救急振興財団救急救命九州研修所 教授 救急振興財団救急救命九州研修所 教授 産業医科大学産業医実務研修センター 教授・所長</p>	<p>池田 正春 太田 雅規 岸本 卓巳</p> <p>竹中ゆかり 郡山 一明 森 晃爾</p>
<p>Vol.18 No.2 2005年8月発行</p> <p>レビュー1. 労働安全衛生マネジメント (OSHMS)、機械の安全性等をめぐる内外の動向と将来の展望 The Domestic and International Status and Future Development of OSHMS as well as the safety of machines, etc.</p> <p>2. 肥満の科学的解明とエビデンスに基づいた対策・指導 Obesity and its comorbidities; review of current understanding of the epidemiology, etiology, treatment and prevention</p>	<p>社団法人日本作業環境測定協会専務理事、労働衛生コンサルタント (労働衛生工学)</p> <p>1 名古屋大学大学院医学系研究科 公衆衛生学/医学ネットワーク管理学分野 2 名古屋大学大学院医学系研究科 器官制御内科学分野</p> <p>八谷 寛 (助教授)、 玉腰浩司 (助教授)、 豊嶋英明 (教授)</p>	<p>唐沢 正義</p> <p>八谷 寛¹ 松下 邦洋² 玉腰 浩司¹ 大塚 礼¹ 和田 恵子¹ 豊嶋 英明¹</p>
<p>Vol.18 No.3 2005年11月発行</p> <p>レビュー1. 働く人の自殺—その現状と対策</p> <p>2. 産業医と精神科医との連携による職域のメンタルヘルスケア —手法と実際—</p> <p>3. 化学物質管理に関する世界調和システム —その後の展開と GHS 導入にむけた動向</p>	<p>アデコ (株) 健康支援センター</p> <p>産業医科大学医学部精神医学教室 教授</p> <p>独立行政法人産業医学総合研究所 企画調整部 研究企画官</p>	<p>廣 尚典</p> <p>中村 純</p> <p>宮川 宗之</p>
<p>Vol.18 No.4 2006年2月発行</p> <p>レビュー1. 過重労働・メンタルヘルス対策の歴史と現状 —産業医、産業保健スタッフおよび事業者の真の戦いが始まろうとしている— Prevention of over-time work related health hazards—past and present</p>	<p>東京大学名誉教授 産業医学振興財団 産業医学情報室長</p>	<p>和田 攻</p>
<p>Vol.19 No.1 2006年5月発行</p> <p>レビュー1. 働く人の健康づくりとライフスタイル —身体活動を中心に—</p> <p>2. 『酸化エチレンの規制と現場の状況』 The present state of ethylene oxide sterilization after the enforcement of its occupational and environmental regulations</p> <p>3. 睡眠時無呼吸症候群と産業保健</p>	<p>大阪ガス株式会社 健康開発センター 大阪ガス株式会社 健康開発センター</p> <p>1 東京大学医学部付属病院手術部 2 東京大学医学部付属病院材料管理部 3 東京大学大学院研究科医療環境管理学 4 東京大学医学部付属病院管理課・施設整備チーム 5 東京大学医学部附属病院院長</p> <p>1 筑波大学大学院人間総合科学研究科 社会環境医学専攻 社会健康医学研究室 2 筑波大学大学院人間総合科学研究科 社会環境医学専攻 睡眠医学研究室 3 大阪府立健康科学センター 4 Department of Population Health Sciences, University of Wisconsin Medical School, Madison, Wisconsin, USA</p>	<p>岡田 邦夫 豊川 彰博</p> <p>1 上寺 祐之^{1,3} 大原 信介^{1,2} 三村 芳和² 大林 俊彦² 小森 千鶴¹ 斎藤 祐平^{1,3} 八重樫 博⁴ 永井 良三^{3,5}</p> <p>谷川 武¹ 櫻井 進² 山岸 良匡¹ 崔 仁哲¹ 池田 愛¹ 八尾 正之^{1,3} 野田 博之¹ 梅澤 光政¹ 池原 賢代¹ 村木 功¹ Terry Young⁴</p>

<p>Vol.19 No.2 2006年8月発行</p> <p>レビュー1. 臭素化ダイオキシンの毒性</p> <p>2. 『精神科医からみた 「心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援のてびき」 ～大うつ病性障害を疾病モデルとして～』</p> <p>3. 職業性ジストニア ～我が国における現状～</p>	<p>日本バイオアッセイ研究センター 申明会ナンバカギもとクリニック 理事長</p> <p>1) 関東労災病院リハビリテーション科 2) 産業医科大学神経内科 3) 国立埼玉病院神経内科 4) 順天堂大学医学部脳神経内科 5) 榊原白鳳病院神経内科 6) 国立相模原病院神経内科</p>	<p>山本 静護 鍵本 申明</p> <p>玉川 聡^{1,2} 魚住 武則² 辻 貞俊² 後藤 淳³ 林 明人⁴ 日崎 高広⁵ 長谷川一子⁶</p>
<p>Vol.19 No.3 2006年11月発行</p> <p>レビュー1. 産業保健におけるプライバシーと健康情報の保護 Protection of privacy and health information in occupational health</p> <p>2. 神経毒性化学物質の曝露と影響の評価 －アクリルアミド、エチレンオキシド、臭化メチルについて－ Exposure and effect evaluation of neurotoxic chemicals －Acrylamide, ethylene oxide and methyl bromide－</p>	<p>産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健管理学教室</p> <p>産業医科大学 産業生態科学研究所 環境中毒学教室</p>	<p>堀江 正知</p> <p>伊規須英輝</p>
<p>Vol.19 No.4 2007年2月発行</p> <p>レビュー1. メタボリックシンドロームと産業医学 －産業保健実践の中心的課題－ Metabolic Syndrome as an Important Problem of Occupational Health</p> <p>2. 医師・医療スタッフの過重労働とメンタルヘルス Overwork and mental health of doctors and other medical staff</p>	<p>産業医学振興財団情報室長 東京大学名誉教授</p> <p>神戸女子大学教授・公衆衛生学</p>	<p>和田 攻</p> <p>栗原 伸公</p>
<p>Vol.20 No.1 2007年5月発行</p> <p>レビュー1. カドミウムの生体影響 Health effects of cadmium exposure</p> <p>2. 派遣労働者の労働衛生管理の現状と課題 Current status and issues of occupational health management for dispatched workers in Japan</p> <p>3. 職場のハラスメント：最近の動向と対策 Harassment in the workplace: recent trends and prevention measures</p>	<p>千葉産業保健推進センター</p> <p>千葉大学大学院医学研究院</p> <p>産業医科大学産業医実務研修センター</p> <p>産業医科大学産業医実務研修センター</p> <p>産業医科大学 副学長、産業医実務研修センター 所長</p> <p>独立行政法人労働安全衛生総合研究所 上席研究員</p>	<p>能川 浩二</p> <p>諏訪園 靖</p> <p>中本 真理</p> <p>梶木 繁之</p> <p>森 晃爾</p> <p>原谷 隆史</p>
<p>Vol.20 No.2 2007年8月発行</p> <p>レビュー1. 産業保健と特定健康診査・特定保健指導 －腹囲測定と高齢者医療法の活用による産業保健の活性化－ Occupational Health and the Specific Health Judgment and Specific Health Support System</p> <p>2. 働く人の難聴－現状と対策－ Hearing loss in workers －The present condition and measure－</p>	<p>東京大学名誉教授、(財)産業医学振興財団情報室長</p> <p>埼玉県医師会常任理事(産業保健、母子保健、介護保険) 日本医師会認定産業医、日本耳鼻咽喉科学会認定聴音性難聴担当医療法人社団耳鼻咽喉科山崎医院院長・理事長</p>	<p>和田 攻</p> <p>山崎 博</p>
<p>Vol.20 No.3 2007年11月発行</p> <p>レビュー1. 医師の過重労働とその背景並びに医療体制に及ぼす影響 Overwork of medical doctors, its background and impact on the medical service system</p> <p>2. 悪性中皮腫の診断・治療に関する現状と将来 The status quo and prospects for diagnosis and treatment of malignant mesothelioma</p> <p>3. 職場における化学物質による健康障害防止に係るリスク評価 Risk assessment of health hazards induced by chemicals in work environment</p>	<p>前(独法)労働者健康福祉機構理事</p> <p>労働者健康福祉機構アスベスト関連疾患研究センター長</p> <p>東京慈恵会医科大学名誉教授</p>	<p>鶴田 憲一</p> <p>岸本 卓巳</p> <p>清水 英佑</p>

<p>Vol.20 No.4 2008年2月発行</p> <p>レビュー1. 過重労働とメンタルヘルス ー特に長時間労働とメンタルヘルスー Overwork and mental health focusing on long working hours</p> <p>2. 産業ストレスの第一次予防対策：科学的根拠の現状とその応用 Primary Prevention of Occupational Stress : Scientific Evidence and Its Application in Practice</p>	<p>京都文教大学臨床心理学部・神田東クリニック</p> <p>東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科衛生学・予防医学分野 産業医科大学 産業医実務研修センター</p>	<p>島 悟</p> <p>川上 憲人 島津 明人 土屋 政雄 堤 明純</p>
<p>Vol.21 No.1 2008年5月発行</p> <p>レビュー1. 小規模事業場の面接指導 ー小規模事業場の産業保健活動の現状と面接指導の実際ー Introduction of the Health Interview System in Conformity with the Law to Small-Scale Industries in Japan in Relation to Their Occupational Health Activity</p> <p>2. 「産業保健をめぐる裁判事例」 Occupational Health And Court Precedents</p>	<p>産業医科大学学長</p> <p>放送大学客員教授</p>	<p>和田 攻</p> <p>中嶋士元也</p>
<p>Vol.21 No.2 2008年8月発行</p> <p>レビュー1. わが国の中小企業におけるメンタルヘルス対策の現状と将来 Current status and issues of mental health of small and medium-sized enterprises in Japan</p> <p>2. ナノ粒子・ナノ材料の健康影響 Health Effects of Nanoparticle and Nanomaterial</p> <p>3. 企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）と産業保健 Corporate Social Responsibility and Occupational Health</p>	<p>産業医科大学 産業生態科学研究所 精神保健学研究室 産業医科大学 産業生態科学研究所 精神保健学研究室</p> <p>産業医科大学産業保健学部 産業医科大学産業保健学部 産業医科大学産業保健学部</p> <p>九州電力(株)・統括産業医</p>	<p>尾久 征三 永田 頌史</p> <p>嵐谷 奎一 秋山 幸雄 樺田 尚樹 藤代 一也</p>
<p>Vol.21 No.3 2008年11月発行</p> <p>レビュー1. 労災疾病等13分野医学研究の成果と意義 Achievements and significance of new reseach project on the 13 fields of occupational injuries and illnesses by the Japan Labour Health and Welfare Organization</p> <p>2. 海外の産業保健専門職大学院の現状とわが国の課題 Graduate studies on occupational health in other countries and the suggestions to be considered in Japan</p>	<p>独立行政法人労働者健康福祉機構 総括研究ディレクター</p> <p>北里大学医学部衛生学公衆衛生学 産業医科大学産業生態科学研究所 環境疫学 産業医科大学産業生態科学研究所 環境疫学</p>	<p>関原 久彦</p> <p>和田 耕治 タナカ千恵子 高橋 謙</p>
<p>Vol.21 No.4 2009年2月発行</p> <p>レビュー1. 高齢労働社会への挑戦 ～その産業保健人間工学戦略～ Challenges in the aging worker society : Occupational health ergonomics strategies must be proposed in view of the coming the aging worker society</p> <p>2. 産業医研修制度とそのニーズ Training system for occupational physician and its need</p> <p>3. 事業場のメンタルヘルス対策の現状と将来 Managng Mental Health at Workplace: Current Status and Future</p>	<p>産業医科大学産業生態科学研究所人間工学研究室</p> <p>東京大学 環境安全本部 東京大学 環境安全本部 産業医科大学 産業医実務研修センター</p>	<p>神代 雅晴</p> <p>古澤 真美 大久保靖司 堤 明純</p>

<p>Vol.22 No.1 2009年 5 月発行</p> <p>レビュー 1. 労働者の健康管理と胸部エックス検査の有効性の評価 Effectiveness of routine chest X-ray screening in the worker's health management</p> <p>2. 新しい発がん性試験法の開発と動物から人への外挿 Rat Medium-term Bioassays for Rapid Detection of Carcinogenic Potential of Chemicals and Carcinogenic Threshold</p>	<p>東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学第二講座</p> <p>中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター</p>	<p>山口 直人</p> <p>福島 昭治</p>
<p>Vol.22 No.2 2009年 8 月発行</p> <p>レビュー 1. 石綿ばく露による健康障害とリスク評価の現状 Evaluation of the risks of lung cancer and mesothelioma due to occupational and non-occupational asbestos exposure.</p> <p>2. 産業医の職場巡視 Walk through survey by the occupational physician</p> <p>3. 作業関連性運動器障害とその対策 Work-related musculoskeletal disorders and their preventive measures</p>	<p>聖マリアンナ医科大学予防医学教室</p> <p>労働衛生コンサルタント事務所オークス</p> <p>藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学</p>	<p>高田 礼子</p> <p>竹田 透</p> <p>小野雄一郎</p>
<p>Vol.22 No.3 2009年11月発行</p> <p>レビュー 1. 健康経営ー現状と産業保健との関わり Corporate health management- Effective healthcare program of employees' satisfaction</p> <p>2. 英国の産業医学大学院教育の現状 The present state of post graduate course in occupational medicine in the United Kingdom</p> <p>3. わが国における産業医学に関する国際交流の現状と将来 Overview of international collaboration in occupational health field of Japan</p>	<p>大阪ガス株式会社人事部健康開発センター</p> <p>産業医科大学医学部医学概論 産業医科大学医学部医学概論</p> <p>産業医科大学産業生態科学研究所 所長 作業病態学研究室 教授 産業医科大学医学部分子生物学 教授 産業医科大学産業生態科学研究所 環境疫学研究室 教授</p>	<p>岡田 邦夫</p> <p>藤野 昭宏 大垣 拓郎</p> <p>東 敏昭 河野 公俊 高橋 謙</p>
<p>Vol.22 No.4 2010年 2 月発行</p> <p>レビュー 1. 燻蒸剤曝露による生体影響 ー特に沃化メチル、フッ化スルフリルについてー Exposure to Methyl iodide and sulfuryl fluoride used as fumigant and their health effects</p> <p>2. 産業保健から社会医学へのイノベーションに向けて ー産業安全、勤労者医療、公衆衛生との一元化への歴史的潮流 Innovation of Industrial Health Towards Social Medicine: Integration With Industrial Safety, Workers' Medical Care and Public Health</p> <p>3. メンタルヘルス不調による職場復帰困難事例の対応 The management of difficult cases with mental health disorders to return to work</p>	<p>信州大学医学部衛生学公衆衛生学 信州大学医学部衛生学公衆衛生学 信州大学医学部衛生学公衆衛生学</p> <p>独立行政法人労働者健康福祉機構・埼玉産業保健推進センター所長、東京大学名誉教授（独立行政法人労働安全衛生総合研究所 前理事長） 順天堂大学医学部衛生学講座（国立大学法人三重大学・大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学分野講師）</p> <p>日立健康管理センタ 日立健康管理センタ</p>	<p>野見山哲生 塚原 照臣 津田 洋子</p> <p>荒記 俊一 北村 文彦</p> <p>林 剛司 武田 俊</p>

<p>Vol.23 No.1 2010年5月発行</p> <p>レビュー1. インジウム肺 Indium lung</p> <p>2. 化学物質過敏症 (MCS) の動向 Clinical and research trends on Multiple Chemical Sensitivity (MCS)</p> <p>3. 日本の産業看護職の専門性と将来の課題 －米国産業環境看護職のコンピテンシーを参考に－ The specialty and future task of Occupational Health Nurse in Japan －Comparing to the competencies in OEHN in U.S.A.－</p>	<p>慶應義塾大学医学部衛生学 公衆衛生学教室 慶應義塾大学医学部衛生学 公衆衛生学教室 九州大学大学院医学研究院 環境医学分野 九州大学大学院医学研究院 環境医学分野 久留米大学医学部環境医学 講座</p> <p>産業医科大学産業保健学部 産業・地域看護学講座教授 日本赤十字九州国際看護大 学大学院研究科長</p>	<p>中野真規子 大前 和幸 田中 昭代 平田美由紀 石竹 達也 池田 智子 石原 逸子</p>
<p>Vol.23 No.2 2010年8月発行</p> <p>レビュー1. わが国と世界各国における職場の喫煙対策の現状とその効果 The necessity and the effects of smoking control in workplaces and community</p> <p>2. 心理的負荷による精神障害等の労災認定 －基準の改正と現状及び将来－ The “Guidelines for Evaluating Whether a Mental Disorder Caused by Psychological Load is Off-the-job Based or Not (certification of workers' compensation)”, drawn up by the Ministry of Health, Labor and Welfare －Revision of Standard, Current State, and Image of the Future－</p> <p>3. インダストリアル／オキュペイショナルハイジニスト －わが国及び各国の現状と将来－ Industrial/Occupational Hygienist －Present and Future in Japan and in the World－</p>	<p>産業医科大学産業生態科学研 究所健康開発科学研究室教授</p> <p>大阪樟蔭女子大学大学院教 授</p> <p>産業医科大学産業保健学部 作業環境計測制御学</p>	<p>大和 浩 夏目 誠 保利 一</p>
<p>Vol.23 No.3 2010年11月発行</p> <p>レビュー1. 労働安全衛生領域における ILO の活動 Activities of the International Labour Organization in the field of Occupational Safety and Health</p> <p>2. 健診機関の選択と活用 The Choice and practical use of the Health check-up institution</p> <p>3. 産業医の体系的な育成のあり方 Opportunities to Improve Training Systems for Occupational Physicians in Japan</p>	<p>労災保険情報センター専務理事 前ILO労働者保護局長</p> <p>財団法人神奈川県予防医学 協会専門委員</p> <p>産業医科大学・副学長 産業医実務研修センター所長・教授</p>	<p>井谷 徹 森 雄一 森 晃爾</p>
<p>Vol.23 No.4 2011年2月発行</p> <p>レビュー1. 勤労者医療の現状と展望について 独立行政法人労働者健康福祉機構「勤労者医療のあり方検討会報告書」からの提言 Current state and prospect of Worker's Medical Care.: Advance from Japan Labour Health and Welfare Organization report.</p> <p>2. 欧州の産業保健制度と産業医の業務 Occupational health system and occupational physician's activities in European countries</p> <p>3. 鉄鋼業の産業保健の歴史と今後の課題 The history of occupational health in the Japanese steel industries, and future subjects</p>	<p>北里大学名誉教授、(独)労働者健康福祉機構医監 前(独)労働者健康福祉機構 医療事業部勤労者医療課長</p> <p>獨協医科大学医学部公衆衛 生学講座</p> <p>新日本製鐵㈱君津製鐵所安 全環境防災部主任医長</p>	<p>高田 昂 吉谷 真治 武藤 孝司 宮本 俊明</p>

<p>Vol.24 No.1 2011年5月発行</p> <p>レビュー1. 鉱物油の生態影響 The biological effects of Mineral oil</p> <p>2. メンタルヘルス不調の早期支援のあり方 Early Intervention of Mental Illness</p> <p>3. じん肺健康診断におけるエックス線デジタル撮影画像の活用の現状と将来 Present and future application of digital radiography in the evaluation system of pneumoconiosis.</p>	<p>宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 順天堂大学医学部衛生学講座准教授 順天堂大学医学部衛生学講座教授 滋賀医科大学放射線医学講座</p>	<p>黒田 嘉紀 竹内 昌平 山内 武紀 北村 文彦 横山 和仁 村田喜代史</p>
<p>Vol.24 No.2 2011年8月発行</p> <p>レビュー1. 東日本大震災をめぐる精神医学的諸問題 —死別悲嘆、トラウマ、放射線被曝のストレス評価再考— Psychiatric problems concerning the Great East Japan Earthquake: The stress appraisal reconsideration of grief, bereavement, trauma and radiation exposure</p> <p>2. 労働安全衛生法から構築した産業医活動 An essential framework of jobs for occupational physicians constructed from the Industrial Safety and Health Law</p> <p>3. 産業医の専門性と倫理 Expertise and ethics of occupational physician</p>	<p>神戸親和女子大学大学院文学研究科教授・精神科医 パナソニック産業保健センター 産業医科大学産業生態科学研究所産業保健管理学</p>	<p>丸山総一郎 山田 誠二 堀江 正知</p>
<p>Vol.24 No.3 2011年11月発行</p> <p>レビュー1. わが国の働く人々のメンタルヘルス対策の来し方、行きし方 —血みどろの戦いの行き止まりの打開策はあるか— Occupational Mental Health in Japan — Past, Present and Future, Quo va dis?</p> <p>2. わが国におけるEAPの現状と課題 ～海外のEAPの動向に基づく対応策の検討～ Current status and issues of Employee Assistance Programs in Japan —A study of measures based on overseas situation of EAPs—</p> <p>3. ナノマテリアルの産業保健の現状と将来—労働衛生学の立場から Occupational health for nanomaterial, past and future —viewpoint from industrial hygiene</p>	<p>東京大学名誉教授 産業医科大学名誉教授 株式会社産業医大ソリューションズ 産業医科大学産業生態科学研究所労働衛生工学教授</p>	<p>和田 攻 亀田 高志 明星 敏彦</p>
<p>Vol.24 No.4 2012年2月発行</p> <p>レビュー1. 工業用ナノマテリアルの生体影響とリスクアセスメント Toxicity and risk assessment of manufactured nanomaterials</p> <p>2. 職業性ストレスの免疫学的評価—系統的展望 Immunological assessment of psychosocial job stress — A systematic review</p>	<p>産業医科大学産業生態科学研究所呼吸病態学 産業医科大学産業生態科学研究所呼吸病態学 国立医薬品食品衛生研究所生活衛生化学部 産業総合技術研究所化学物質リスク管理研究センター 米国疾病予防センター国立労働安全衛生研究所応用研究技術部門 産業医科大学産業保健学部</p>	<p>森本 泰夫 堀江 祐範 小林 憲弘 篠原 直秀 中田 光紀 池田 智子</p>

<p>Vol.25 No.1 2012年5月発行</p> <p>レビュー1. わが国における職場の化学物質対策と特殊健康診断項目の改正 Present Strategy for Countermeasure of Chemical Health Hazards at Workplace in Japan and the Revision of Specific Health Examination Items</p>	<p>東京大学名誉教授 産業医科大学名誉教授</p>	<p>和田 攻</p>
<p>Vol.25 No.2 2012年8月発行</p> <p>レビュー1. ワーク・エンゲイジメントに関する研究の現状と今後の展望 Work Engagement : A Literature Review on Current Situation and Future Directions</p> <p>2. 概日リズムとがん Circadian rhythm and cancer</p> <p>3. 小規模事業場における参加型・自主対応型産業保健活動の動向とわが国における展望 Participatory work improvement in small workplaces - A systematic review and Japanese future task -</p>	<p>東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 信州大学医学部衛生学公衆衛生学講座</p> <p>産業医科大学分子生物学病理学 産業医科大学分子生物学病理学 産業医科大学分子生物学病理学 産業医科大学分子生物学病理学</p> <p>産業医科大学産業保健学部 米国疾病予防センター国立労働安全衛生研究所応用研究技術部門</p>	<p>島津 明人 江口 尚</p> <p>河野 公俊 王 克鋪 笹栗 靖之 和泉 弘人</p> <p>池田 智子 中田 光紀</p>
<p>Vol.25 No.3 2012年11月発行</p> <p>レビュー1. 災害時の産業保健活動 Occupational health for disasters</p> <p>2. 独立系産業医の現状とこれから Current status and its prospects of Independent Occupational Physicians and Consultants to corporations on health issues in Japan</p> <p>3. 安全衛生保護具開発の歴史と展望 The history and prospects for the personal protective equipments</p>	<p>北里大学医学部公衆衛生学 学校法人北里研究所</p> <p>ひの労働衛生コンサルタント事務所</p> <p>十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科</p>	<p>和田 耕治 相澤 好治</p> <p>日野 義之</p> <p>田中 茂</p>
<p>Vol.25 No.4 2013年2月発行</p> <p>レビュー1. 産業保健における栄養指導・管理 - 管理栄養士の活用 - Nutrition Support Service by a Registered Dietitian in Industrial Health</p> <p>2. わが国の作業環境管理 - 現状と将来 - Management of Working Environments in Japan - Present and Future -</p> <p>3. 職域の喫煙対策の現状と未来 Smoking control in workplace : Current situation and future</p>	<p>神戸女子大学家政学部長・管理栄養士養成課程教授 (公衆衛生学)</p> <p>(株)エフアンドエーテクノロジー研究所</p> <p>産業医科大学産業生態科学研究所教授</p>	<p>栗原 伸公</p> <p>小西 淑人</p> <p>大和 浩</p>

<p>Vol.26 No.1 2013年5月発行</p> <p>レビュー1. 胃がんリスク検診（ABC 検診）の現状と今後の展望 Present status and future prospects of gastric cancer risk screening (ABC method)</p> <p>2. 新しい動脈硬化指標 CAVI の原理と臨床応用 —検診での有用性と活用法— A novel arterial stiffness marker, cardio-ankle vascular index and its clinical applications —Usage and Utility in medical health examination—</p> <p>3. 勤労者のメンタルヘルスのニーズと行政の対応 —質問紙をどう使うか— Needs for Mental Health and Questionnaires Used in Japan, with Special Emphasis on the New Flame Work of the Government of Japan</p>	<p>日本胃がん予知・診断・治療研究機構 理事長/ がん研有明病院 顧問/東邦大学 名誉教授</p> <p>誠仁会みはま病院研究開発部 東邦 大学医療センター血管機能学講座</p> <p>NPO 法人国際エコヘルス研究 会理事長、群馬大学名誉教授</p>	<p>三木 一正</p> <p>白井 厚治</p> <p>鈴木 庄亮</p>
<p>Vol.26 No.2 2013年8月発行</p> <p>レビュー1. トナー印字（印刷）における生体影響調査 Health effect of aerosol derived from laser printer and photocopier machine</p> <p>2. 快適職場の形成 —現状と未来— Current status and future of comfortable workshop creation in Japan</p> <p>3. 努力—報酬不均衡職業性ストレスモデルに基づく 最近の研究動向と職場のストレス対策 Recent development of occupational stress research and workplace stress reduction based on the Effort-Reward Imbalance model</p>	<p>産業医科大学 産業生態科学 研究所</p> <p>産業医科大学 産業生態科学 研究所</p> <p>産業医科大学 産業生態科学 研究所</p> <p>産業医科大学 産業生態科学 研究所</p> <p>産業医科大学 産業生態科学 研究所</p> <p>産業医科大学 産業生態科学 研究所</p> <p>千葉工業大学工学部 デザ イン科学科</p> <p>北里大学医学部 公衆衛生 学</p>	<p>森本 泰夫</p> <p>秦 浩一</p> <p>喜多村絢子</p> <p>大神 明</p> <p>東 敏昭</p> <p>三澤 哲夫</p> <p>堤 明純</p>
<p>Vol.26 No.3 2013年11月発行</p> <p>レビュー1. 職場主導で行われる介入が労働者のメンタルヘルス および生産性を含むコストに与える影響：系統的文献レビュー The effect of workplace-led interventions on employees' mental health and cost: a systematic review and discussion on current situation in Japan</p> <p>2. 職業アレルギー —現状と課題— Occupational Allergy: Status Quo and Propositions</p>	<p>公益財団法人 東京都医学総合 研究所 心の健康プロジェクト</p> <p>公益財団法人 東京都医学総合 研究所 心の健康プロジェクト</p> <p>公益財団法人 東京都医学総合 研究所 心の健康プロジェクト</p> <p>公益財団法人 東京都医学総合 研究所 心の健康プロジェクト</p> <p>順天堂大学医学部 衛生学 講座</p> <p>国立静岡病院アレルギーセンター元院長、 大分大学保健管理センター元教授（所長） 東京大学名誉教授、（独）労働者健康福 祉機構埼玉産業保健推進センター所長</p>	<p>安藤俊太郎</p> <p>瀧本 里香</p> <p>井上 直美</p> <p>西田 淳志</p> <p>松長 麻美</p> <p>横山 和仁</p> <p>中村 晋</p> <p>荒記 俊一</p>
<p>Vol.26 No.4 2014年2月発行</p> <p>レビュー1. 印刷会社で集団発生した胆管癌の解明と対策 Investigation and countermeasures on the outbreak of cholangiocarcinoma in a printing company</p> <p>2. 「健康いきいき職場づくり」：職場のメンタルヘルスへの ポジティブ・ノンヘルスセクターアプローチ Promoting the “Kenko-ikiiki Workplace” :A positive, non-health sector approach to mental health at work</p> <p>3. ホスゲンばく露事故への産業保健現場と医療機関の対応 Corresponding of occupational health professionals and medical institutions to the accident of phosgene exposure</p>	<p>大阪市立大学大学院医学研究 科 産業医学分野</p> <p>大阪市立大学大学院医学研究 科 肝胆膵外科学</p> <p>東京大学大学院医学系研究 科 精神保健学分野・教授</p> <p>三井化学株式会社 本社健 康管理室長</p>	<p>圓藤 吟史</p> <p>久保 正二</p> <p>川上 憲人</p> <p>土肥誠太郎</p>

<p>Vol.27 No.1 2014年5月発行</p> <p>レビュー1. 事業場でのハラスメント その影響と対策 Harassment at workplace — The influence and countermeasures —</p> <p>2. 働く人の睡眠障害とその産業保健対策—現状と将来 Current status and future of occupational health concerning working population with sleep disorders</p> <p>3. 労働者の精神医療の実際と産業精神保健 Psychiatric medical treatment and industrial & occupational mental health</p>	<p>森田哲也：株式会社リコー 総括産業医</p> <p>富士電機株式会社 川崎工場健康管理センター 睡眠総合ケアクリニック代々木 睡眠総合ケアクリニック代々木 東京医科大学睡眠学講座</p> <p>医療法人社団 神田東クリ ニック 院長</p>	<p>森田 哲也</p> <p>加藤 憲忠 井上 雄一</p> <p>高野 知樹</p>
<p>Vol.27 No.2 2014年8月発行</p> <p>レビュー1. 携帯型心電計の産業保健への活用 Usefulness of a portable ECG monitoring for occupational health.</p> <p>2. がん予防の現状と今後の展望 Present status and future of cancer prevention</p> <p>3. 胆管がんの臨床のすべて —職業性胆管がんの理解と早期発見を目指して— Clinical practice of cholangiocarcinoma Understanding and early detection of an occupation-related cholangiocarcinoma</p>	<p>古河電気工業株式会社 統 括産業医</p> <p>がん研有明病院 健診セン ター</p> <p>東京大学医学系研究科消化 器内科 東京大学医学系研究科消化 器内科 東京大学医学系研究科消化 器内科</p>	<p>加部 勇</p> <p>土田 知宏</p> <p>佐々木 隆 伊佐山浩通 小池 和彦</p>
<p>Vol.27 No.3 2014年11月発行</p> <p>レビュー1. 化学物質の職業曝露限界値の設定 —特に不確実性係数の取り扱いについて— Setting occupational exposure limits for chemicals with particular reference to uncertainty factors</p> <p>2. 職場における熱中症の予防 Prevention of Heat Illness at Work</p> <p>3. 近年の振動障害研究の国際動向 Current international topics on Hand-arm Vibration Syndrome</p>	<p>公益財団法人産業医学振興 財団 理事長</p> <p>産業医科大学 産業生態科学研 究所 産業保健管理研究室</p> <p>和歌山県立医科大学医学部 衛生学教室教授 近畿大学総合社会学部教授 和歌山県立医科大学医学部 衛生学教室助教 和歌山県立医科大学医学部 衛生学教室助教 和歌山県立医科大学医学部 衛生学教室准教授</p>	<p>櫻井 治彦</p> <p>堀江 正知</p> <p>宮下 和久 前田 節雄 竹村 重輝 津野香奈美 吉益 光一</p>
<p>Vol.27 No.4 2015年2月発行</p> <p>レビュー1. 遺伝情報と労働衛生 —法的規制と安全配慮義務から見た動向— Genetic Information and Occupational Health — The movement of harmonizing the employers' obligation to consider the safety of workers and the legal regulation on the use of genetic information —</p> <p>2. 最近のうつ病、考え方と対処の仕方 Recent Interpretations and Managements of So-called Newer Depressive Disorders</p> <p>3. 作業関連疾患—作業態様と健康障害 Work-related Diseases-Working style and health disorders</p>	<p>永井公認会計士事務所 独立行政法人労働安全衛生 総合研究所</p> <p>東邦大学心身医学教室・心 療内科 東邦大学心身医学教室・心 療内科</p> <p>産業医科大学 産業生態科学 研究所 作業関連疾患予防学 産業医科大学 産業生態科学 研究所 作業関連疾患予防学 産業医科大学 産業生態科学 研究所 作業関連疾患予防学 産業医科大学 産業生態科学 研究所 作業関連疾患予防学 産業医科大学 産業生態科学 研究所 作業関連疾患予防学</p>	<p>永井 道人 小川 康恭</p> <p>内田さやか 坪井 康次</p> <p>大神 明 喜多村絨子 長谷川将之 野澤 弘樹 安藤 肇</p>

<p>Vol.28 No.1 2015年5月発行</p> <p>レビュー1. 産業神経学の進歩 Advances in Occupational Neurology</p> <p>2. 「産業保健に関わる判例とその流れ」 Trends of recent judiciary judge on employees' health</p> <p>3. 小規模事業場と産業保健 Industrial health in small scale work place</p>	<p>信州大学名誉教授、関東労災病院名誉院長</p> <p>大阪ガス株式会社人事部大阪ガスグループ健康開発センター</p> <p>北條医院院長、東京工科大学客員教授、労働衛生コンサルタント</p>	<p>柳澤 信夫</p> <p>岡田 邦夫</p> <p>北條 稔</p>
<p>Vol.28 No.2 2015年9月発行</p> <p>レビュー1. 粉じん及び粉じん測定の推移と現状 Trends and current status of dust measurement</p> <p>2. 日本医師会と産業医学 Occupational health policy of the Japan Medical Association</p> <p>3. 印刷会社で集団発生した胆管癌の最近の知見 Recent information on the outbreak of cholangiocarcinoma in a printing company</p>	<p>早稲田大学理工学術院 創造理工学部環境資源工学科</p> <p>日本医師会常任理事</p> <p>産業医科大学産業保健学部 大阪市立大学大学院肝胆脾外科学 大阪市立大学名誉教授 東京理科大学 薬学部 環境労働衛生学</p>	<p>名古屋俊士</p> <p>道永 麻里</p> <p>熊谷 信二 久保 正二^{はか} 圓藤 吟史 市原 学^{はか}</p>
<p>Vol.28 No.3 2016年1月発行</p> <p>レビュー1. 海外勤務者の健康管理 Health care for Japanese workers abroad</p> <p>2. 睡眠と労働生活の向上 Optimal Sleep to Upgrade the Quality of Working Life</p> <p>3. 勤労者における不整脈—課題と対策— Arrhythmias in the laborer: the subject and the countermeasures</p>	<p>東京医科大学病院 渡航者医療センター 東京医科大学病院 渡航者医療センター 東京医科大学病院 渡航者医療センター 東京医科大学病院 渡航者医療センター 独立行政法人労働安全衛生総合研究所</p> <p>東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科</p>	<p>濱田 篤郎</p> <p>栗田 直</p> <p>松永 優子</p> <p>福島 慎二 高橋 正也</p> <p>杉 薫</p>
<p>Vol.29 No.1 2016年5月発行</p> <p>レビュー1. リフラクトリーセラミックファイバーの生体影響について Biological effects of refractory ceramic fibers</p> <p>2. 交替制勤務者の健康管理 Shift Work and its' Health Risk Management;</p> <p>3. 近年のドイツにおける労働安全衛生対策の展開並びに2008年のドイツの労災保険組合の近代化に関する法律、ドイツ法定災害保険による2012年の「産業医及び労働安全衛生専門職に関する規則」の制定・施行等を踏まえたドイツの産業医制度の変更について “On the development of countermeasures for occupational safety and health, in recent years, as well as the change of the System of the Occupational Physician based on the enactment and enforcement of the Act for Modernization of the Accident Insurance System in 2008 and Accident Prevention Regulation on the Occupational physician and OSH professional in 2012, etc., by the Social Accident Insurance, in Germany”</p>	<p>川崎医科大学衛生学 川崎医科大学衛生学 川崎医科大学衛生学 川崎医科大学衛生学 川崎医科大学衛生学 川崎医科大学衛生学責任著者 産業医科大学 医学部 公衆衛生学・講師</p> <p>労働衛生コンサルタント(労働衛生工学)</p>	<p>松崎 秀紀</p> <p>李 順姫</p> <p>武井 直子</p> <p>吉留 敬</p> <p>西村 泰光</p> <p>大槻 剛巳</p> <p>久保 達彦</p> <p>唐沢 正義</p>

<p>Vol.29 No.2 2016年9月発行</p> <p>レビュー1. 生殖毒性を有する産業化学物質の評価と管理 Framework for the evaluation and management of the reproductive toxicity of industrial chemicals.</p> <p>2. インシリコによる活性（毒性）予測法の応用 －危険ドラッグの包括規制、変異原性の予測－ In silico study on prediction of bioactivity and toxicity －Regulation of new designer drugs, prediction of genotoxicity－</p>	<p>帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科 独立行政法人労働者健康安全機構日本バイオアッセイ研究センター</p> <p>国立医薬品食品衛生研究所有機化学部長</p>	<p>宮川 宗之 奥田 裕計</p> <p>栗原 正明</p>
<p>Vol.29 No.3 2017年1月発行</p> <p>レビュー1. フィットノートの紹介とわが国への導入の検討 Challenge of applying fit note system to Japan</p> <p>2. 身体不活動をめぐる sit-stand workstation 導入効果に関する人間工学研究動向 Research trends in ergonomics solutions for physical inactivity applying sit-stand workstations</p> <p>3. 過労死等防止対策の歴史とこれから：これまでに蓄積された過重労働と健康障害等との関連性に関する知見 Literature reviews for overwork-related disorders “KAROSHI” : Research trends and these needs</p>	<p>北里大学医学部 公衆衛生学 教授</p> <p>名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学 名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学</p> <p>独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター</p>	<p>堤 明純</p> <p>榎原 毅 庄司 直人</p> <p>茅嶋康太郎 吉川 徹 佐々木 毅 劉 欣欣 池田 大樹 松元 俊 久保 智英 山内 貴史 蘇 リナ 松尾 知明 高橋 正也</p>
<p>Vol.30 No.1 2017年5月発行</p> <p>レビュー1. 産業保健におけるカドミウム中毒 Cadmium toxicity in industrial health</p> <p>2. フランス労働医の組織と職務 －近年の法制度改正の動向を踏まえて－ Organization and duties of industrial physicians in France</p> <p>3. 簡易で定性的な化学物質のリスクアセスメント手法としてのコントロールバンディング Control Banding as a simple and qualitative risk assessment tool for chemicals</p>	<p>北里大学医学部衛生学 教授</p> <p>茨城大学人文社会科学部 准教授</p> <p>中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 前副所長</p>	<p>堀口 兵剛</p> <p>鈴木 俊晴</p> <p>山田 憲一</p>

<p>Vol.30 No.2 2017年9月発行</p> <p>レビュー1. 社会医学系専門医制度の構築過程と展望 The Development Process and the Potential of Board-Certification and Career-Strengthening System for Physician for Public Health and Social Medicine</p> <p>2. 過重労働対策としての勤務間インターバル制度の可能性と課題 Possibilities and challenges of applying “Daily rest period between working days” system as a strategy for preventing overwork to Japan</p> <p>3. 木材粉塵とがん Wood dust and cancer</p>	<p>社会医学系専門医協会 副理事長 京都大学大学院医学研究科(社会健康医学系専攻) 医療経済学分野 教授</p> <p>独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 産業ストレス研究グループ 上席研究員</p> <p>産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健管理学 JFE スチール株式会社 東日本製鉄所 京浜地区 小倉中井病院 内科</p> <p>Department of Primary Care and Public Health, Imperial College London, UK 産業医科大学 産業医実務研修センター</p>	<p>今中 雄一</p> <p>久保 智英</p> <p>堀江 正知 權守 直紀 寶珠山 務 陳 志瑜 川波 祥子</p>
<p>Vol.30 No.3 2018年1月発行</p> <p>レビュー1. 健診品質維持のための調査研究 Investigative research for maintaining the quality of health check</p> <p>2. 産業医学領域におけるブルガダ症候群の取扱い方 Management for the Brugada syndrome in Occupational Health</p> <p>3. 夜間交代制勤務 Night shift work</p>	<p>東邦大学 産業医科大学産業衛生学教室 (公財)神奈川県予防医学協会 バイオコミュニケーションズ(株)企画室 東海大学医学部公衆衛生学領域 法政大学人間環境学部人間環境学科 佛明治本社 東海旅客鉄道株式会社 健康管理センター 愛媛労災病院</p>	<p>杉田 稔 川本 俊弘 栗原 博 佐々木敏雄 立道 昌幸 宮川 路子 三輪 祐一 遠田 和彦 宮内 文久</p>
<p>Vol.31 No.1 2018年5月発行</p> <p>レビュー1. 業務上疾病に関する最近の知見 Review for Diseases Resulting from Employment</p> <p>2. 我が国における治療と職業生活の両立支援研究の変遷について The Development of a Good Balance Treatment and Occupational Life Research</p> <p>3. 産業保健スタッフのための ISO45001の概要 An abstract of the ISO45001 for occupational health staff</p>	<p>株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア・ウェルネス事業本部、東京大学政策ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット 防衛医科大学校 衛生学公衆衛生学講座 産業医科大学 保健センター 産業医科大学病院 両立支援科 産業医科大学病院 就学・就労支援センター 産業医科大学病院 産業医 中央労働災害防止協会 技術支援部 兼 規格普及推進室</p>	<p>柿沼美智留 角田 正史 立石清一郎 斎藤 信吾</p>

<p>Vol.31 No.2 2018年9月発行</p> <p>レビュー1. 医師の働き方と勤務環境改善の方策 Current workstyle of medical doctors and measures of work environment improvement</p> <p>2. 職域のメンタルヘルス不調における最近の知見 Latest knowledge of the mental health disorder at work sites</p> <p>3. 職域における眼科健診の重要性 Significance of ophthalmic examination in occupational health</p>	<p>日本医師会産業保健委員会、三井記念病院精神科 日本医師会産業保健委員会、日本赤十字社医療センター第一産婦人科 日本医師会産業保健委員会、労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター 日本医師会産業保健委員会、北里大学名誉教授 日本医師会産業保健委員会、担当理事 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 准教授 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 講師 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 教授 東京慈恵会医科大学 眼科学</p>	<p>中嶋 義文 木戸 道子 吉川 徹 相澤 好治 松本 吉郎 岩崎 進一 出口 裕彦 井上 幸紀 中野 匡</p>
<p>Vol.31 No.3 2019年1月発行</p> <p>レビュー1. 職域でのがん対策 Management for cancer prevention in occupational health</p> <p>2. 高気圧作業と健康管理 Health management for hyperbaric workers</p> <p>3. 働く場に忍び寄る感染症とその危険性 Recent risk of infectious diseases in working place</p>	<p>東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 西日本病院 脳神経外科 武蔵ヶ丘病院 リハビリテーション科 玉木病院 外科・総合診療科 久留米大学医学部 環境医学 久留米大学医学部 環境医学 東京慈恵会医科大学 感染制御科</p>	<p>立道 昌幸 合志 清隆 田中慎一郎 玉木 英樹 森松 嘉孝 石竹 達也 堀 誠治</p>
<p>Vol.32 No.1 2019年5月発行</p> <p>レビュー1. 労働者健康安全機構 労災病院の構築している入院患者病職歴データベース On the Inpatient Clinico-Occupational Database of Rosai Hospital Group (ICOD-R)</p> <p>2. 産業医の役割と損害賠償責任及びその対処 Role of Industrial Physician, Liability for Damages and Handling Method</p> <p>3. ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミドの経皮吸収と肝障害 Dermal absorption and hepatic injury due to <i>N,N</i>-dimethylformamide and <i>N,N</i>-dimethylacetamide</p>	<p>労働者健康安全機構 臨床研究監 労働者健康安全機構 勤労者医療課 病職歴専門員 中国労災病院 両立支援センター所長 本部研究ディレクター 入院患者病職歴調査疫学研究責任者 TMI 総合法律事務所 弁護士 弁護士法人AIT医療総合法律事務所 弁護士 弁護士法人AIT医療総合法律事務所 弁護士 弁護士法人AIT医療総合法律事務所 弁護士 信州大学医学部産業衛生学講座 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室 信州大学医学部産業衛生学講座</p>	<p>加藤 賢朗 廣瀬 雄輔 豊田 章宏 小里 佳嵩(編集) 青木 聡史 伊藤 寛之 鈴木 孝昭 野崎 智己 塚原 照臣 野見山哲生</p>

<p>Vol.32 No.2 2019年9月発行</p> <p>レビュー1. ストレスチェック制度の実施状況とその効果：システマティックレビュー</p> <p>Implementation and effectiveness of a new national program to monitor and control psychosocial factors at work in Japan, the Stress Check Program: A systematic review</p> <p>2. 化学物質の肺病変の種差について肺腫瘍を中心に</p> <p>Difference in pulmonary tumor exposed to chemicals by species</p> <p>3. 石綿関連疾患の診断と治療</p> <p>Diagnosis and treatment of asbestos related diseases</p>	<p>北里大学医学部公衆衛生学単位 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 北里大学医学部公衆衛生学単位 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学 産業医科大学 医学部 呼吸器内科 産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学 産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学 独立行政法人労働者健康安全機構 アスベスト疾患研究・研修センター 独立行政法人労働者健康安全機構 アスベスト疾患研究・研修センター 川崎医科大学総合医療センター ひろしま病理診断クリニック</p>	<p>堤 明純 佐々木那津 駒瀬 優 渡辺 和広 井上 彰臣 今村幸太郎 川上 憲人 森本 泰夫 西田 千夏 友永 泰介 和泉 弘人 岸本 卓巳 藤本 伸一 加藤 勝也 井内 康輝</p>
<p>Vol.32 No.3 2020年1月発行</p> <p>レビュー1. 化学物質の発がん性試験で誘発する腫瘍のヒトとの関連性および発がん性評価への適用</p> <p>—肺以外の腫瘍の種差について—</p> <p>Animal tumors induced in carcinogenicity study of chemicals, relevance to human and application to carcinogenic evaluation: Species differences in tumors excepting in the lung</p> <p>2. 職場のパワーハラスメント：法制化と最近の動向</p> <p>Power harassment at work: legislation and recent trends in Japan</p> <p>3. メンタルヘルスケアに資する栄養学的観点</p> <p>Nutritional viewpoints on mental health care</p>	<p>長野毒性病理コンサルティンゲ</p> <p>神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 講師</p> <p>鹿児島大学医歯学総合研究科衛生学・健康増進医学 教授 京セラ㈱鹿児島川内工場 環境安全部 健康管理室 専属産業医 鹿児島大学医歯学総合研究科衛生学・健康増進医学 助教 鹿児島県立短期大学 生活科学科 食物栄養専攻 助教 鹿児島大学医歯学総合研究科地域医療・健康医学 特任助教</p>	<p>長野 嘉介</p> <p>津野香奈美</p> <p>堀内 正久 沖田 信夫 牛飼 美晴 有村 恵美 小牧 祐雅</p>

<p>Vol.33 No.1 2020年5月発行</p> <p>レビュー1. 国際労働安全衛生統計の調べ方、見るべきポイント、参考になる情報ソース等について</p> <p>“How to study and evaluate the international and national statistics with respect to Occupational Safety and Health, the secrets as well as points to be examined, the important resources of relative information, etc.”</p> <p>2. プレゼンティーズム —これまでの研究と今後の課題— Presenteeism: Research history and future tasks</p> <p>3. 遠隔機器を用いた労働者の健康管理：産業保健領域における遠隔機器を用いた健康管理のシステムティックレビューと遠隔産業医面接に関する法制度の現状</p> <p>Workers' Health Management by Using Remote Devices: Systematic Review of Health Management by Using Remote Devices in Occupational Health and Current Status of Legal System for Remote Occupational Interviews</p>	<p>労働衛生コンサルタント (労働衛生工学)</p> <p>獨協医科大学名誉教授</p> <p>日本産業衛生学会 遠隔産業衛生研究会 日本産業衛生学会 遠隔産業衛生研究会 日本産業衛生学会 遠隔産業衛生研究会、産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健経営学 日本産業衛生学会 遠隔産業衛生研究会、北里大学 医学部衛生学 日本産業衛生学会 遠隔産業衛生研究会、産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学 日本産業衛生学会 遠隔産業衛生研究会、産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学</p>	<p>唐沢 正義</p> <p>武藤 孝司</p> <p>神田橋宏治</p> <p>石澤 哲郎</p> <p>梶木 繁之</p> <p>武藤 剛</p> <p>守田 祐作</p> <p>大神 明</p>
<p>Vol.33 No.2 2020年9月発行</p> <p>産業保健と法～産業保健を支援する法律論～</p> <p>Occupational Health and the Law: Legal Theory Contributing to Occupational Health</p> <p>1 産業保健法学の狙い～日本産業保健法学会の設立を控えて～</p> <p>Purpose of Occupational Health Law: For Establishment of The Japan Association of Occupational Health Law</p> <p>2 産業医に関する裁判例</p> <p>Cases Concerning Industrial Physicians</p> <p>3 健康情報等の取扱いと法</p> <p>Handling Health Information and the Law</p> <p>4 産業保健に貢献できる就業規則のあり方</p> <p>How to Make Employment Rules Contributing to Occupational Health</p> <p>5 神奈川 SR 経営労務センター事件の教訓</p> <p>Lessons Learned from the Kanagawa Labor Insurance Office Association Case</p> <p>職場における健康増進プログラムの効果的な実践に影響する組織要因</p> <p>Organizational factors affecting effectiveness of workplace health promotion programs</p> <p>カドミウムと生殖毒性</p> <p>Cadmium and reproductive toxicity</p>	<p>近畿大学法学部教授、日本産業保健法学会設立発起人</p> <p>明治大学法学部講師</p> <p>株式会社ビスメド代表取締役、産業医 弁護士法人英知法律事務所・弁護士 宏和法律事務所・弁護士</p> <p>近畿大学法学部教授、日本産業保健法学会設立発起人 杜若経営法律事務所・弁護士 森本産業医事務所・医師、社会保険労務士、公認心理師 近畿大学法学部教授、日本産業保健法学会設立発起人 東洋大学講師、社会保険労務士</p> <p>近畿大学法学部教授、日本産業保健法学会設立発起人 産業医科大学産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 産業医科大学産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 産業医科大学産業生態科学研究所 産業保健経営学 学内講師 ジョンソン・エンド・ジョンソン 日本法人グループ 統括産業医 HOYA 株式会社 HOYA グループ OSH 推進室長</p> <p>住友電気工業株式会社 産業医 産業医科大学産業生態科学研究所 産業保健経営学 専門修練医 北里大学名誉教授 前 北里大学医療衛生学部健康科学科衛生管理学・産業保健学教授 北里大学大学院医療系研究科環境医科学環境毒医学教授</p>	<p>三柴 大典</p> <p>原 俊之</p> <p>林 幹浩</p> <p>淀川 亮</p> <p>清水 元貴</p> <p>三柴 大典</p> <p>向井 蘭</p> <p>森本 英樹</p> <p>三柴 大典</p> <p>田中 建一</p> <p>三柴 大典</p> <p>森 晃爾</p> <p>永田 智久</p> <p>永田 昌子</p> <p>岡原伸太郎</p> <p>小田上公法</p> <p>森 貴大</p> <p>高橋 宏典</p> <p>太田 久吉</p>

<p>Vol.33 No.3 2021年1月発行</p> <p>レビュー1. リーダーシップの理論と産業保健専門職のリーダーシップへの応用: 文献レビュー Review of leadership theory: Toward the practice of leadership without authority for occupational health workers.</p> <p>2. 化学物質による神経毒性 ～マンガンおよび塗膜剥離剤による中枢神経毒性 Chemical-induced neurotoxicity - Central neurotoxicity of manganese and paint strippers</p> <p>3. 職域におけるオフィスの室内環境に関連する症状とそのリスク 要因: いわゆるシックビルディング症候群 Symptoms of workers and the risk factors associated with indoor environment in office buildings: sick building syndrome</p>	<p>東京大学大学院 医学系研究科 精神保健学分野 客員研究員 産業医科大学 IR 推進センター 准教授 神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 講師 東京女子医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学講座 公衆衛生学分野 助教 筑波大学 人間系 心理学域 准教授 産業医科大学 産業生態科学研究所 産業精神保健学研究室 教授 東京大学大学院 医学系研究科 精神保健学分野 助教 産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性中毒学研究室 教授 産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性中毒学研究室 助教</p> <p>近畿大学医学部 環境医学・行動科学教室 准教授</p>	<p>小林 由佳 井上 彰臣 津野香奈美 櫻谷あすか 大塚 泰正 江口 尚 渡辺 和広 上野 晋 後藤 元秀</p> <p>東 賢一</p>
<p>Vol.34 No.1 2021年5月発行</p> <p>レビュー1. ベンチマークドーズ手法の適用の現状と課題 —動物実験データへの適用を中心に— Application and current issues of the benchmark dose approach to the date of animal studies</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症流行と労働者の精神健康: 総説 Mental health among workers in the COVID-19 pandemic: a review</p> <p>3. 難病患者における治療と仕事の両立支援に関する研究の現状 Review for the Promotion of Health and Employment Support among Intractable Diseases Patients</p>	<p>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 安全性予測評価部 部長 京都大学大学院医学研究科 環境衛生学分野 教授</p> <p>東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 大学院生 東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 教授 産業医科大学 産業生態科学研究所 産業精神保健学研究室 教授</p>	<p>広瀬 明彦 西浦 博</p> <p>佐々木那津 川上 憲人 江口 尚</p>
<p>Vol.34 No.2 2021年9月発行</p> <p>レビュー1. 職域における騒音対策—難聴予防から両立支援まで Noise countermeasures in the workplaces: from the prevention of deafness to the support for balancing prevention and work</p> <p>2. 認知行動療法と認知行動変容アプローチ ～職域での活用可能性～ Cognitive Behavior Therapy and Cognitive Behavior Modification Approach at Working Place</p> <p>3. 産業保健における実装科学 Implementation Science in Occupational Health</p>	<p>筑波大学 医学医療系 耳鼻咽喉科 准教授 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 産業・環境保健委員会</p> <p>一般社団法人 認知行動療法 研修開発センター 理事長</p> <p>国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部 実装科学研究室 室長 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部 実装科学研究室 特任研究員 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部 実装科学研究室 特任研究員 東海大学医学部基盤診療学系 衛生学公衆衛生学 講師 東邦大学医学部社会医学講座 衛生学分野 助教 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部 実装科学研究室 研究員 第一生命保険株式会社 契約医務部 担当医長 東海大学医学部基盤診療学系 衛生学公衆衛生学 教授</p>	<p>和田 哲郎</p> <p>大野 裕</p> <p>島津 太一 小田原 幸 梶 有貴 深井 航太 今村 晴彦 齋藤 順子 湯脇 恵一 立道 昌幸</p>

Vol.34 No.3 2022年1月発行		
<p>レビュー 1. わが国における産業保健活動が日本人の健康寿命延伸に寄与する可能性—「健康日本21(第二次)」の基本的方向に関連した学術論文の検討から—</p> <p>Possibility of contribution of occupational health activities in Japan to the extension of healthy life expectancy of Japanese people: a review of scientific studies with reference to fundamental direction of “Health Japan 21 (the second term)”</p>	<p>獨協医科大学 名誉教授</p>	<p>武藤 孝司</p>
<p>2. Vaccine Hesitancy (ワクチン躊躇) : ワクチン接種意思に与える諸要因と職場</p> <p>Vaccine Hesitancy: Factors influencing intention to vaccinate and the workplace</p>	<p>産業医科大学産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 産業医科大学産業生態科学研究所 環境疫学 准教授 HOYA 株式会社 HOYAグループ統括産業医 住友電気工業株式会社 本社産業医</p>	<p>森 晃爾 石丸 知宏 小林 祐一 森 貴大</p>
<p>3. オミックス解析を用いた職業性曝露のリスク評価</p> <p>Risk assessment of occupational exposures using omics analysis</p>	<p>産業医科大学産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 専任講師</p>	<p>永田 智久 原田 成</p>